

第2期 福井市 まち・ひと・しごとと創生 人口ビジョン・総合戦略(概要版)

総合戦略に基づく人口減少対策の推進

人口減少が暮らしに与える影響

- 生活関連サービス(小売、飲食、娯楽、医療機関等)の縮小、雇用の減少
- 地域公共交通の縮小、撤退 ・空き家、空き店舗、耕作放棄地等の増加
- 地域活動や住民組織の担い手不足、地域コミュニティの機能低下
- 税収減等による行政サービス低下、社会インフラの老朽化
- 学校等の公共施設の統廃合 など

生活利便性の低下、地域の魅力の低下 → 更なる人口減少の悪循環

総合戦略に基づく施策の展開

人口減少の克服に向け、本市の特長や強みを活かした施策を継続的に展開

第1期 総合戦略 H27(2015)~R1(2019) の進捗と課題

人口の長期展望の現状

各種施策展開により人口減少の進行度合いは緩和

- 本市の 2040(R22)年の将来人口推計は、第1期戦略の目標水準を上回る 24 万 2 千人に改善

国勢調査人口 (2015年(H27))	対策前の当初推計 (2040年時点)	第1期戦略の 対策による目標	対策後の最新推計 (2040年時点)
26.6万人	21.6万人	23.7万人	24.2万人

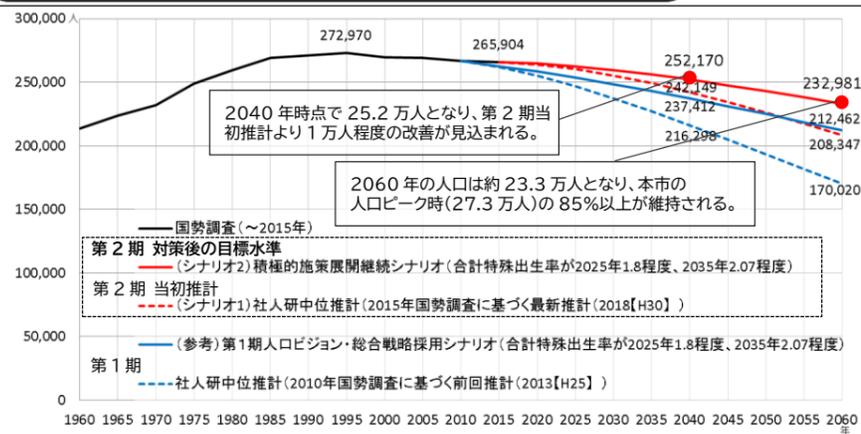
約5万人の減 → 2.1万人の改善 → 目標を約5千人上回る

- ただし、将来的な人口減少に歯止めをかけるまでには至っておらず、人口減少対策はこれからが正念場

第1期の取組を踏まえた課題等

- 進学や就職による若者、女性の県外転出超過の改善、地元定着促進
- 将来の人口規模維持の条件となる合計特殊出生率の向上
- 新幹線開業対策と開業後のまちづくり
- 外国人、多文化共生、SDGsなどへの対応 など

第2期 人口ビジョンの長期展望(目標水準)



第2期 総合戦略 R2(2020)~R6(2024) 各基本目標と政策の基本的方向及び具体的施策

○は継続、●は第2期総合戦略で新たに位置付ける取組項目

基本目標1 「交流」「対流」「還流」、福井への三つの人の流れづくり

[数値目標] 市内観光客入込数 525 万人 (H30:419 万人 ※観光地及びイベント等の延べ入込数)
転入・転出者数を均衡 (H30:転出超過 153 人 住民基本台帳ベース)

[基本的方向及び具体的施策]

福井ならではの地域資源を磨き上げて、交流人口を拡大

- 一乗谷朝倉氏遺跡のスケールアップ
- 賑わいと魅力あふれる、歩きたくなるまちなかづくり
- 越前海岸の自然景観・文化的景観、地域資源の活用
- 文化財の保存活用、日本遺産の魅力発信 ○広域観光、体験型観光の推進

離れていても福井とつながる人口の対流を創出

- 福井の魅力や地域資源を活かした人の流れ創出プラットフォームづくり
- 福井を応援できる仕組みの充実、二地域活動・居住等の推進

ふるさとで働き暮らす。ライフステージに応じた人材還流の促進

- 住みよさ一流、福井の魅力PR
- 県内学生の地元定着を促進
- 仕事、住まいなどニーズに応じた移住支援
- 東京圏からの移住・就職を手厚く支援 ○ふるさと教育の推進

福井への人の流れにつなげるプロモーション

- 北陸新幹線の福井開業に向けたプロモーション強化
- 来訪者の満足度を高めるおもてなしの推進

基本目標3 新たな雇用の創出と働きがいのあるまちづくり

[数値目標] 5 年間で 1,200 人の新たな就業の場を創出 (就業促進:750 人 企業立地:370 人 農林水産業:80 人)

[基本的方向及び具体的施策]

福井の伝統のものづくり技術の高度化

- 福井のものづくり企業力の強化、チャレンジ支援
- 繊維産業の高付加価値化、成長産業への展開
- 事業承継の促進、知的財産権の活用

魅力ある産業育成と創業支援による新たな雇用づくり

- 地域経済を牽引する中核企業の育成
- 企業立地の推進 ○若者の夢を応援する創業支援

生産性革命と働きがいのあるまちづくり

- 先端技術の導入・活用の促進
- 働き方改革の推進、働きがいの向上

稼げる農林水産業の実現

- 農業経営の基盤強化、スマート農業の推進
- 農林水産物のブランド力の強化、6次産業化の促進
- 農林水産業の未来を担う人材の発掘・育成
- 恵まれた森林環境の有効活用
- 水産資源を守り育て、安定した漁業へ転換

基本目標2 一人ひとりの結婚、出産、子育ての希望がかなう環境づくり

[数値目標] 合計特殊出生率の向上 (H29:1.62、人口ビジョンシナリオ(R7):1.8 程度)

[基本的方向及び具体的施策]

結婚、出産、子育ての希望がかなう支援の充実

- 結婚意識の醸成と出会いの場の創出
- 切れ目のない妊娠、出産、子育て支援
- 出産、子育ての負担軽減

福井らしさに対応した子育て環境充実

- 安心して子どもを預けられる環境の充実
- 福井の共働きを支える保育人材の確保
- 家庭や地域全体で、多くの大人が子どもを支える子育て環境づくり

女性の活躍促進、仕事と家庭の両立

- 女性が働きやすく活躍できる環境整備
- 仕事と家庭を両立できる環境づくり

子どもたちが未来に夢と希望を持てる教育環境づくり

- 全国トップクラスの学力・体力、創造力を育む教育
- グローバル化への対応、プログラミング教育の推進

基本目標4 時代に合った住みよさ一流のまちづくり

[数値目標] 福井市に住み続けたいと思う市民の割合 90% (H30:87.2%)

[基本的方向及び具体的施策]

連携中枢都市圏の中心的役割を担い、圏域全体の発展を牽引

- ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョンの推進
- 中枢中核都市への支援制度等の活用

住みよさ一流のさらなるレベルアップ

- 快適で美しいまちづくり、住みよさ向上の気運醸成
- 食品ロス削減、プラスチックごみ抑制など、環境負荷の低減対策
- 空き家の利活用促進、遊休資源の活用

安全・安心な暮らしを守り、まちの魅力と活力を向上

- 県都の玄関口にふさわしい都市機能の集積
- 北陸新幹線の早期全線開業及び並行在来線対策
- 全域公共交通ネットワークの充実
- 中山間地域・過疎地域等の活性化、地域コミュニティの維持・活性化
- 暮らしを守る社会インフラの整備、地域住民による生活安全・防犯対策

みんなが輝く、誰もが安心して暮らせる共生社会の推進

- 外国人との多文化共生
- スポーツ、健康まちづくりの推進
- アクティブシニアの活躍の場の拡大
- 地域での相談支援体制の充実
- ボランティア活動の促進